

CCIいみず

射水商工会議所報

2014

7
MONTH

勢いそのままに 更なる発展を目指す



通常議員総会
(6月25日)

CONTENTS

■ 先月の事業 Pickup ▶ 2p

常議員会、通常議員総会・懇親会
新規加入会員紹介
射水市ふるさと物産協議会役員会
建設部会 全体講演会・懇親会を開催
魅力発信プロジェクト
着地型観光推進プロジェクト会議
主な今後の動き～イベント情報～

■ 青年部だより ▶ 4p

6月度講師例会

■ 女性会だより ▶ 4p

平成 26 年度富山県商工会議所
女性会連合会定時総会開催

■ SERIES ▶ 5p

高橋進の経済ナビ
人口減少下での地方再生
キーワードは「集約」と「活性化」

■ インフォメーション ▶ 6p

金融関係
主な公的金融制度の利率
高岡法人会からのお知らせ
経営革新等支援機関認定のお知らせ
富山プロダクツ選定商品の募集
射水商工会議所会員大会開催のお知らせ
青年部 新入会員の募集

■ キラリしんみなど ▶ 8p

川口貸衣裳
三代目 川口 貴巳 氏

平成26年度 通常議員総会



6月25日(水)、第一イン新湊において、平成26年度、常議員会、通常議員総会を開催しました。平成25年度の事業報告・収支決算について審議され、いずれも原案通り承認されました。総会終了後、夏野市長、奈田市議会議長、泉副市長、河原産業経済部長をお迎えして懇親会を開催しました。

以下、平成25年度事業報告の概要を掲載します。

平成25年度の収支決算の概要

平成25年度のわが国経済は、安倍総理が提唱するアベノミクスにより将来の希望がもたらされ、海外経済の緩やかな持ち直しや円高修正などから、景気回復とデフレからの脱却の兆しが感じられるものの、地方経済においては、消費税増税や原材料の高騰等、課題は多く未だ予断を許さない状況であります。

本商工会議所においては、11月の議員改選により牧田会頭が再任され、新たな役員・議員体制のもと二期目がスタートしました。第23期からは、これまでの委員会中心の活動から部会活動に重点を置き、より活発な会員間の交流と課題解決に向けた取り組みを図るとともに、地域の経済総合団体として、下に掲げる施策項目の実現に積極的な事業展開に取り組みました。

●●●●●●●●●● 平成25年度事業の重点項目 ●●●●●●●●●●

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 1 中小企業の経営支援 | 4 交流観光の推進 |
| 2 地域活性化への取り組み強化 | 5 意見活動の推進 |
| 3 魅力あるまちづくりに向けた施策の調査・研究 | 6 運営基盤・事業活動の強化 |

【総括的概要】

	科目	金額 (万円)	割合(%)
収入の部	会費・負担金	2,340	21.5
	事業収入	3,041	28
	交付金(補助金)	4,545	41.8
	雑収入	120	1.1
	繰入金	8	0.1
	繰越金	817	7.5
	合計	10,871	100
支出の部	事業費	2,181	20
	管理費	5,677	52
	事務費	671	6
	会館維持費	755	7
	積立繰出金	608	6
	収支剰余金	979	9
	合計	10,871	100

新規加入会員のご案内

～新加入会員～

No	事業所名	代表者名	所在地	業種
1	(株) JACKALOPE	加治 臣康	射水市かもめ台 20	衣料小売業
2	N S Y 板金	米 宜光	〃 港町 14-22	建築板金業
3	Total beauty house 美童 miyarabi	鶴川 寿美	〃 海竜町 36	美容業
4	ノースショット	館 忠文	〃 海老江浜開 192-93	理容業
5	Nail Salon Steady	石王丸あゆみ	〃 高場新町 2-110	ネイルサロン
6	釣具服店	釣 とし子	〃 緑町 11-2	呉服小売業
7	堀岡養殖漁業協	加治 秀夫	〃 海竜町 5-5	養殖漁業
8	ルフラン	辻 和美	〃 立町 2-38	飲食業
9	OAコンサルタント	惣名 芳夫	〃 東明西町 2-2	コンサルタント業
10		岩間志津子	〃 西新湊 7-16	化粧品販売
11	マルフク	渡辺福太郎	〃 神楽町 21	運送業
12	(有) 快成	広島 順三	〃 海竜町 5-6	水産加工販売業

～特別会員～

No	事業所名	代表者名	所在地	業種
1	(公財)日本電信電話ユーザ協会 高岡地区協会	川村 人志	富山市桜橋通り 4-32	電気通信利便増進
2	サトーガラス	佐藤 清志	射水市中太閤山 10丁目42	ガラス工事業
3	後谷誠二税理士事務所	後谷 誠二	高岡市中曾根 2623	税理士事務所
4	ヤマサン食品工業(株)	藤岡 宏年	射水市黒河 3197	食品製造業



6/4 射水を売り込む 道筋を創る

射水市ふるさと物産協議会の役員会が開催され、先日の総会で承認を得た事業計画書をもとに、どのように事業を運営していくかを協議いたしました。来春に北陸新幹線の開業を控えていることを踏まえ、首都圏・長野方面への物産展に力を入れ、射水の物産を広く周知してもらえよう積極的なPR活動を行うこととなりました。

6/12 建設部会 全体講演会・懇親会を開催

建設部会(部会長:石灰晃)の第1回全体講演会・懇親会、6月12日(木)に本所で開催され、部会員など約30名が出席した。

今回の講演会・懇親会については、部会再編後の部会活動の活発化に向けて開催したもので、当日は講師に中野英一郎先生(中小企業診断士)を迎え、「環境変化に強い会社をつくる経営改善・経営革新の着眼点」と題して講演いただきました。

講演では、建設業界での長期的動向や課題、経営革新例なども示され、参加者の皆さんは真剣にメモを取っておられました。

また、講演終了後は、部会活動についても話し合われ、今後は常置部会員会を設置して進めて行くこととなりました。また引き続き行われた懇親会では、個々の企業の現状や業界の展望についても意見交換がなされ、それぞれが切磋琢磨しながら力を合わせ、業界の発展に向け活動していくことを誓い合いました。



6/27 新たな商品開発を目指す

6月27日(金)、魅力発信プロジェクト 着地型観光推進プロジェクト会議を開催しました。

会議ではプロジェクトの進め方について議論し、メンバーが活発な意見を交わしました。今後は、来年3月の北陸新幹線開業に向け、新たな着地型観光商品の開発を進めていくことになりました。

主な今後の動き イベント情報

<会議所> 主な今後の動き	
7/1(火)	庁舎跡地活用プロジェクト会議
7/2(水)	運輸通信部会「常置部会会議」
7/3(木)	卸小売部会「常置部会会議」 女性会役員会
7/8(火)	射水市商工協議会全体会議 新湊鉄工業組合定時総会
7/9(水)	本所青年部理事会 正副会頭会議
7/10(木)	プロジェクトリーダー連絡会議 専門技術部会
7/11(金)	北陸信越ブロック商工会議所会頭会議 「富山観光物産まつり」担当者会議
7/14(月)	富山県造船機協同組合通常総会
7/16(水)	伏木富山港日本海側拠点港推進協議会幹事会
7/21(月)	ハイブリッドトラム実走事業オープニング記念式典
7/22(火)	建設部会「常置部会員会」
7/23(水)	不動産賃貸部会「空き家・不動産無料相談会」 本所青年部委員長連絡会議
7/24(木)	「海の日」式典
7/27(日)	富山新港新湊まつり 生活関連部会主催「講演会」
7/28(月)	富山県青色申告会連合会北陸ブロック役員研修会
7/29(火)	事業関連部会「常置部会員会」

ホスピタリティマインドを磨く

射水商工会議所青年部 6月度講師例会

6月19日(木)に青年部の6月度講師例会が開催され、講師に(有)香取感動マネジメント代表 香取貴信氏をお招きし「ホスピタリティマインド～ディズニーから学ぶおもてなしの心～」をテーマに講演していただきました。講演ではディズニーランド時代の経験談を元にユーモアを交えながら熱心に講演され、参加者は自身の気遣い等への考え方を見つめなおすきっかけとなり、講師から「おもてなしの心」を学びました。



加藤会長
挨拶



▲ 香取 貴信 氏

青年部だより

世界へ羽ばたく 精神力を学ぶ

平成26年度
富山県商工会議所女性会連合会
定時総会開催



富山県商工会議所女性会連合会 平成26年度定時総会が6月16日(月) 富山第一ホテルで開催され、県内8女性会より約100名が出席、射水からは8名が参加しました。平成25年度事業報告及び収支決算報告、平成26年度事業計画(案)及び収支予算(案)、役員改選(案)について、すべて異議なく承認可決されました。総会終了後には、松岡秀子ジャズバレエ研究所(富山市)の研究生、岩崎安里さんが、今秋、スイスの名門バレエ学校に留学することが決まったことを受け、報告とダンスの披露が行われました。



記念講演会では、SCOT演出家・主宰 鈴木忠志氏に「利賀から世界へ」と題してお話いただきました。1976年富山県利賀村に本拠地を移し、合掌造りの民家を劇場に改造して活動。1982年より、世界演劇祭「利賀フェスティバル」を毎年開催。世界各地での上演活動など国際的に活躍する中で、「日本が国際市場で勝っていくには、尊敬され、愛される国になるべく精神対策をしっかりと行っていく必要がある。利賀の合掌造りを見て、その知恵と労力、集団力と精神力に感動した。」と話され、参加者は真剣に耳を傾けていました。

女性会だより

人口減少下での地方再生 キーワードは『集約』と『活性化』

アベノミクスのもとで日本はデフレ脱却と経済再生の糸口をつかみつつある。ただし、人口減少に伴う働き手や購買力の減少を放置すれば、やがてマイナス成長が常態化してしまうだろう。人口の減少と高齢化が進むなかで、どうやって成長を維持するのかという長期的な課題は残されたままだ。少子化対策や、女性・高齢者・外国人の活用などによって人口と労働力の減少に歯止めをかける必要がある。

もっとも、人口減少は全国で一様に起きるわけではない。今後、とりわけ激しい人口減少に見舞われると予測されているのが地方都市である。日本創成会議(座長=増田寛也東京大学大学院客員教授)は、先日、2010年から40年までの間に「20~39歳の女性人口」が5割以下に減少する自治体数が896自治体と大幅に増加、全体の49.8%にものぼるとし、これらを「消滅可能性都市」とするというショッキングなレポートを公表した。

地方経済の再生は、日本経済を再生していくうえで欠かせない課題であるが、現実には激しい人口減少に直面し、自治体経営を維持していくことさえ容易ではない。加えて、こうした自治体には、道路・橋や上下水道など社会インフラの老朽化に伴う維持・管理、更新の負担がこれから重くのしかかっていく。

こうした状況の下で自治体経営を維持していくためには、社会インフラの縮減、行政サービスの適正規模の見直しなどを含めた「集約化」が避けられない。まちが外へ外へと広がっていくことを放置すれば、インフラを維持するためのコストは上がり、行政サービスの質の低下も避けられない。まちを集約しコンパクトにすることで、地域の経済活動の拠点にしていくことが必要である。しかし、集約化は守りの戦略であり、地域の再生には攻めの政策である「活性化」戦略が必要だ。

地方はこれまで域内で不足する需要を公共事業や社会保障といった公需で賄って経済を支えてきた。しかし、公共事業頼みはずでに限界に達している。また、人口が減少すれば社会保障への依存もできないことから、地域が自らの手で新たな需要を開拓しなければならない。その鍵は域外からヒト・モノ・カネを取り込むことである。もっともカネは地域金融機関の手元にある。課題は、これをいかに地元のビジネスの立ち上げなどに活用するかである。

問題は「モノ」と「ヒト」である。モノといっても新幹線や高規格道路といったハードが足りないのではない。域外需要を取り込むに必要なのは、特色のある観光資源や農産物である。また、今後は地域の医療・介護資源が余ると見込まれることを考えれば、都市に居住する高齢者を呼び込むことで域外需要を取り込むことも考えられる。

さらに重要なのはヒト(人材)の呼び込みであろう。若者の大都市への流出を食い止め、逆に取り込む戦略が必要である。各県にある国公立大学などを活用して、地域の特性を活かし、磨き、産業化することのできる研究・開発拠点を作り、教育と雇用を通じて若者を定着させることが重要だ。地域の大学は、地域発のイノベーション拠点になってこそ存在価値がある。

地方自治体の中には相変わらず中央政府からのヒト・モノ・カネやノウハウの提供に期待する声もあるが、厳しい財政事情の下で中央政府に多くを期待することは難しい。地方自治体の課題は、自らの地域の特性を生かしながら、守りと攻めの戦略で民需の力を引き出すことである。地域再生のノウハウを持った人材を取り込み、需要をもたらしてくれるシニアや若い働き手をひきつける魅力をつくる手腕が問われることになる。



金融関係

主な公的融資制度の利率

(平成26年7月1日現在)

資金名	利率(年)	
日本政策金融公庫 (国民生活事業)	マル経融資	1.45%
	普通貸付	1.40%~2.90%
富山県	小口事業資金	1.90%
射水市	中小企業資金	2.00%

日本政策金融公庫
定例相談会

【相談会場】 射水商工会議所1階相談室

アドバイザー等	開催日時
高岡支店国民生活事業 ■ 小口の事業資金融資 ■ 創業支援・地域活性化支援 ■ 国の教育ローン、恩給・共済年金等を担保とする融資	7月15日(火) 13:00~15:00
富山支店中小企業事業 ■ 中小企業への長期事業資金の融資 ■ 国の中小企業政策に基づいた支援	7月24日(木) 13:00~15:00

◎ご利用の方は、相談所まで事前にご予約下さい。
TEL.84-5110

税経セミナーのご案内

日時 平成26年7月17日(木) 14:00~16:00

場所 高岡商工ビル 4F研修室

第一講座 講師 金融ジャーナリスト
森岡 英樹氏
演題 「改正消費税でどう変わる!?
日本経済と中小企業経営」

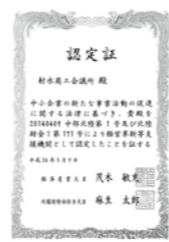
入場料 無料(事前に電話にて申込みお願いします)

公益社団法人 高岡法人会

申込・問合せ先 TEL.23-8855 FAX.26-1216

射水商工会議所が
経営革新等支援機関に認定

当所は、5月9日付けで国の中小企業経営力強化支援法に基づく「経営革新等支援機関」に認定されました。認定支援機関として、これからも会員の皆様の経営を応援してまいります。



経営革新等認定支援機関(認定支援機関)とは?

中小企業をめぐる経営課題の多様化・複雑化や、海外展開に伴う資金調達に対する支援措置として施行された「中小企業経営力強化支援法」に基づき、専門性の高い支援事業を行う機関を国が認定するもので、中小企業の経営力の強化を図ることを目的としています。

このような時にはお気軽にご相談下さい。

将来に向けた事業計画を作りたい。
専門的な経営課題を解決したい。
財務内容、経営状況の分析をしたい。
創業したい。経営革新を取得したい。
自社商品の効果的な販売促進を図りたい。
新商品・新サービスの提供に係る課題を解決したい。

富山から全国発信!

富山県では、県内で企画または製造される性能、品質及びデザイン性に優れた工業製品を富山プロダクツとして選定し、その販路開拓を支援しています。

選定されると...選定商品を紹介する総合カタログへの掲載や展示会への出品等各種支援を受けることができます。

【申請期間】

平成26年6月2日(月)~8月29日(金)

※募集については年間を通して行っていますが、集中募集期間としての期間です。

【申請対象】

県内で企画又は製造される食品及び医薬品を除くすべての工業製品

※申請方法など、詳しくはHPをご覧ください。

<http://products.toyamadesign.jp>

ご相談・問合せ・申請書類提出先

富山県総合デザインセンター 担当:吉田
〒939-1119 富山県高岡市オフィスパーク5番地
TEL.0766-62-0510 FAX.0766-63-6830
Mail:dc5@toyamadesign.jp

射水商工会議所会員大会 2014

開催日時

平成26年
8月31日(日)

会場 第一イン新湊 2階

【第一部】 記念式典
13:15 永年会員表彰
14:00 共済制度普及優良事業所表彰
優良従業員表彰【10年、20年、30年勤続】

【第二部】 記念講演会
14:00 演題「守ってあげたい。いのちを懸けて」
15:00

【第三部】 会員交流会(講師を囲んでティーパーティ)
15:00 ・会員事業所(従業員・ご家族)であれば
15:30 どなたでも参加できます。

お気軽にご参加下さい。(要申込)

*詳細については、8月号会報にてご案内します。

問合せ先 射水商工会議所 総務課 向田まで



講師
参議院議員
三原じゅん子氏

青年部 新入会員の募集について(ご案内)

射水商工会議所青年部では新入会員を募集しています。

平成26年度は「ホスピタリティーマインド(おもてなしの精神)」をスローガンに掲げ、経済人としての資質向上のための講演会や、地域貢献のための様々な事業を行っております。皆様のご加入をお待ちしています!

加入要件 射水商工会議所の会員事業所に勤務する45歳以下の男女
年会費 42,000円[上期(5月)21,000円と下期(10月)21,000円]

[申込み・問合せ先] 射水商工会議所青年部事務局 (担当/買場)
〒934-0011 射水市本町2丁目10番35号(射水商工会議所内)
TEL:0766-84-5110 FAX:0766-84-5245 E-mail:kaiba@imizucci.jp

来年で創業55周年という川口貸衣裳さんにおじゃまし、三代目の川口貴巳さんにお話を伺いました。仕入れの際には自ら京都へ赴き、着物のみならずドレスにおいても日本人の伝統行事に対する姿勢や思い入れが表れる、という理念のもと、衣裳選びを行っているそうです。隔月でショーを開催し、衣裳をもっとたくさんの人に伝えようという取り組みも行っておられます。その思いの丈を聞いてきました。

礼を尽くした衣裳選びのお手伝い

三代目
川口 貴巳 さん

従業員の皆さん
と一緒に

衣裳やドレスの役割とは何ですか？

パーティーや結婚式は主役・主賓のためのものとはいえ、迎えられ、出席した人すべてのもの。ぱっと目を引く個性的なドレスも最近多く出てきています。個性を出すのも大事ですが、礼を尽くしたものが本来の姿だと思います。当店では、ぱっと目に入るものであっても、品が感じられなければ仕入れはしません。流行り廃りにただ流されるのではなく、崩すのであれば伝統を守った上で崩すという姿勢を基本にしています。出席する老若男女、全ての人に、主役の方は素敵だったと思ってもらえるような衣裳選びを心がけています。個性よりも思いを大事にさせていただきよう接客しています。

衣裳に対する思いを教えてください

和装にこそ日本人のよさが出るので、きちんとした場では着物を着るという伝統はなくなってほしくないと思っています。幸いにも最近では和装を選ぶ人が増えてきていて、嬉しく思います。また、こちらもお客様にきちんとお勧めできるよう、着物についての知識やマナーをしっかりと学んだ上で提供できるよう心がけています。若手の社員にも基本をしっかりと学んでもらっているため、接客もほぼ任せています。

和装にもっと親んでいただけるような企画も提案し、毎月着物サークルを開き、お持ちいただいた着物を着付け、そのままお出かけしたりちょっとしたパーティーをしたりしています。また、8月24日(土)に実施される夏のイベント「内川十楽・夏の夜の彩り」において『ゆかたdeナイト』を実施します。浴衣で内川を散策してもらおうと、無料で浴衣の着付けを行うブースを設けます。500円で浴衣の貸出も行っていますので、是非お越しただけたらと思います。

川口貸衣裳

代表者：川口 芳子
住 所：射水市善光寺7-3
TEL：0766-82-2475
設 立：昭和35年
事業内容：貸衣裳業

打掛・振袖・ドレス・紋服・
タキシード・モーニング・
留袖・付け下げ・訪問着・
色無地・ゲストドレス・
女兒ドレス・男児タキシード・
七五三・女袴・喪服・
男女礼服・各種夏物・その他

インタビューを終えて

「日本の伝統を守っていききたい」と、京都の着物職人の深刻な後継者不足について真剣な眼差しで訴えておられました。着物だけでなくドレスも豊富に取り扱っておられ、伝統の基本を忠実に守った上で新しい試みに取り組みされる姿から、衣裳に対する並々ならぬ思いを感じました。開店当時から続く隔月のドレスショーのモデルも素人さんを公募しておられるとのこと。衣裳に興味のある方は是非挑戦してみたいかがでしょうか。

掲載企業募集しています。射水商工会議所 TEL.84-5110 (京谷まで)